

鵜三小だより 9月号

令和5年 葉月28日
各務原市立鵜沼第三小学校

【9月の予定】

日	曜	行事等
1	金	シェイクアウト訓練
2	土	
3	日	
4	月	5年4組社会見学
5	火	5年2組社会見学
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	地域防災訓練
11	月	
12	火	3年生社会見学
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	教育実習修了
23	土	秋分の日
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	個人懇談
30	土	

「だから」ではなく「しかし」を大切に

まだまだ暑い日が続きますが、再び学校が始まります。皆さん、この夏は、いつも以上に多くの本を読んできたでしょうか。私は、6冊の本を読みました。読書については、次号「読書の秋」にて書きたいと思います。今回は、どんな言葉を使うとより幸せな生活ができるか、という話です。まずは、次の二つの文を声に出して読んでみてください。

- ① 暑い日が続く。「だから」何もしたくない。
- ② 暑い日が続く。「しかし」暑さに負けずに元気に過ごす。

①、②の文ともに、「暑い日が続く」は同じです。けれども、次に、「だから」を使うか、「しかし」を使うかで、全然違う考え方になります。「暑い」のは皆いっしょです。「暑い」から、ダラダラ過ごすのか、「暑い」けれど、頑張るって過ごすのか。

言葉はとても面白くて、言葉を意識して使うだけで、考え方も変わり、生活そのものが違ってきます。特に、嫌なことや、苦手なことにあった時は、「しかし」を使って欲しいと思います。

例えば、今日の給食に苦手な野菜が入っていたとしましょう。その時、「苦手な野菜だ。だから残そう。」と考えるのではなく、「苦手な野菜だ。しかし残さず食べよう。」と考えて欲しいのです。給食は、栄養のバランスが考えられ作られています。苦手なものでも残さず食べると、しっかり栄養がとれます。皆さんは、今、長い人生の土台を作る大切な時です。どうぞ「考え方」の土台も、より良い土台がつかれるよう、言葉を学んでいきましょう。

ボランティアの心 みどりのまちづくり会の皆さん ありがとうございました

8月26日、土曜日に、「みどりのまちづくり会」の皆さんが、早朝より学校の周囲の草刈りをしてくださいました。「みどりのまちづくりの会」の方々には、5月にも「鵜三小オリンピック」に向けて、草刈り等環境整備をしてくださっています。今回は、夏休み明けに、全校の皆さんが気持ちよく学校生活を送れるよう、本当に暑い中、草を刈り込んでくださいました。プールの周囲もうっそうと草が生えていましたが、さっぱりとなくなりました。

皆さんは、「ボランティア」という言葉を知っていますか。「自分から、人のために、お金などをもとめず、何かをする」ことです。「みどりのまちづくりの会」の皆さんは、私たちのために、草刈り等をしてくださったのです。このボランティアは、私たちが人間である証（あかし）です。人間だからこそ、「人のために、何かしてあげるといった考え方」ができるのです。そして、「ボランティアは人のためにするものではなく、自分から進んで自分のために行うもの」です。

私たちも「人のために何かできる一人一人」でありたいですね。

